

特集 災害は

よそ事ではない



地震後の熊本市上空から

大村でも、震度4

4月14日、熊本県を襲った地震は、その後も1か月ほど強い余震が続き、甚大な被害をもたらしました。犠牲になられた皆さまに哀悼の意をささげ、被災者の皆さまへお見舞い申し上げます。

本市でも震度4を観測。2009(平成21)年以来、震度3以上の地震を観測しました。立て続けに地震が頻発したため、恐怖感を抱いた人も多かったのではないのでしょうか。

県内には地震を起こす可能性がある活断層が6つも存在しています。市内にも、「大村・諫早北西付近断層帯」があり、最大震度は「6強」が予測されています。今回の大地震もよそ事ではないのです。

災害は、いつ、どこで発生するかわかりません。日頃からの備えが必要であることへ、今回の大地震で目の当たりにしました。「備えあれば憂いなし」。もう一度、災害への備えを確認しましょう。

大村から熊本へ



義援金へのご協力ありがとうございました
2,363,448円(5月11日現在)

救援物資へのご協力ありがとうございました
628箱264人(4月受付終了)



がんばろう熊本、がんばろう九州

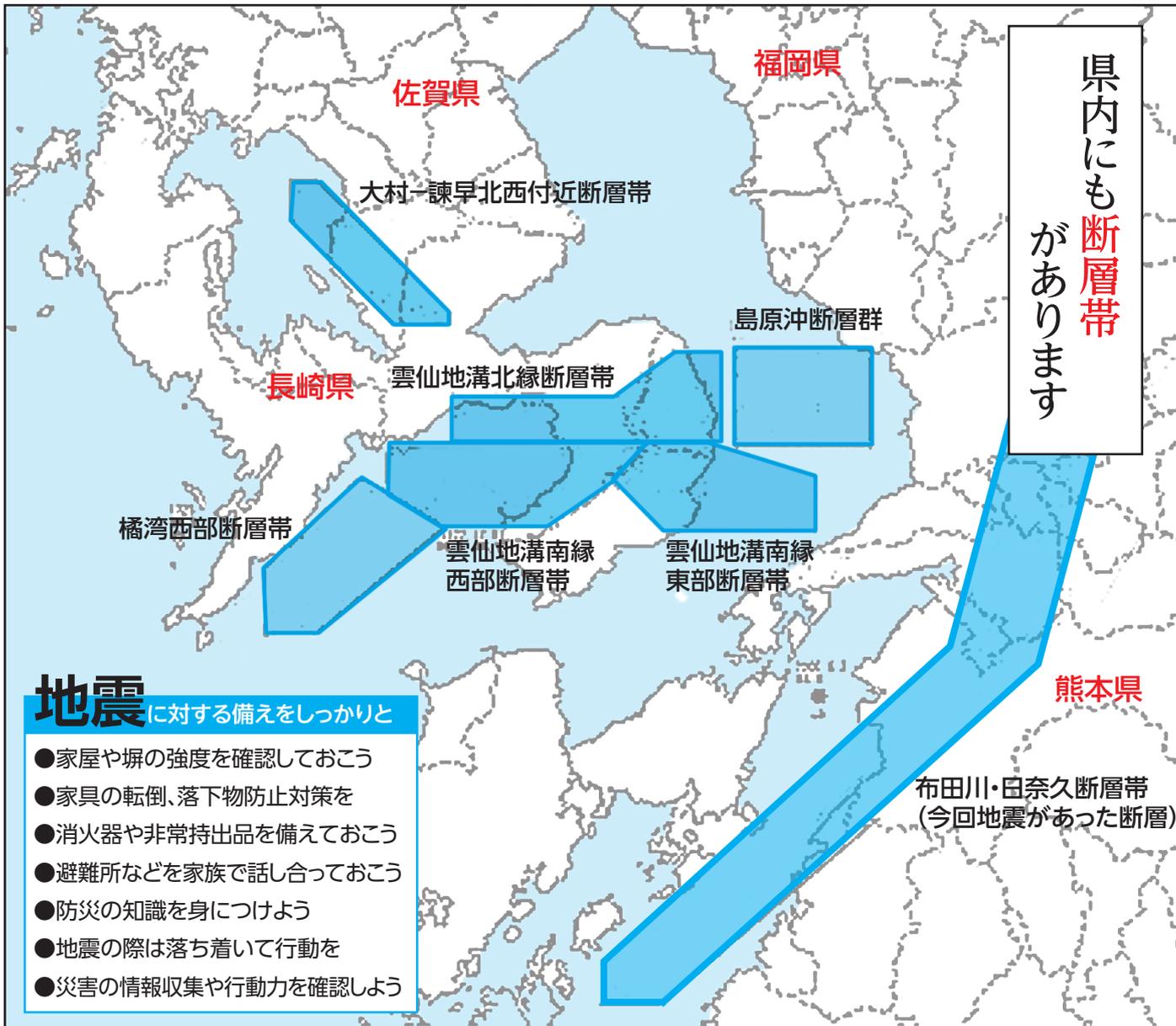
被災地支援に関するお問い合わせ
■熊本地震大村市緊急支援本部(内線212)



市職員を被災地へ派遣しました
43人(5月10日現在)

上下水道局職員が給水支援を行いました
18人(5月2日終了)





地震

に対する備えをしっかりと

- 家屋や塀の強度を確認しておこう
- 家具の転倒、落下物防止対策を
- 消火器や非常持出品を備えておこう
- 避難所などを家族で話し合っておこう
- 防災の知識を身につけよう
- 地震の際は落ち着いて行動を
- 災害の情報収集や行動力を確認しよう

防災行政無線屋外スピーカー

4月1日から運用を開始した「防災行政無線」。今回の地震では、「全国瞬時警報システム(Jアラート)」からの緊急地震速報を受信し、ただちに自動放送されました。今後も震度4以上が予測される場合に、警報音と音声でお伝えします。



大村市の状況

◆ 大村市で震度3以上を観測した地震

	発生日時	震央地	マグニチュード	最大震度	大村市の震度
1	4月14日 21:26頃	熊本地方	M6.5	7	3
2	14日 21:42頃	熊本地方	M4.9	4	3
3	14日 22:07頃	熊本地方	M5.8	6弱	3
4	14日 22:38頃	熊本地方	M5.0	5弱	3
5	15日 0:03頃	熊本地方	M6.4	6強	3
6	16日 1:25頃	熊本地方	M7.3	7	4
7	16日 1:30頃	熊本地方	M5.3	4	3
8	16日 1:44頃	熊本地方	M5.4	5弱	3
9	16日 1:45頃	熊本地方	M5.9	6弱	3
10	16日 16:02頃	熊本地方	M5.4	5弱	3

緊急速報「エリアメール」

各携帯電話会社から市内にいる携帯利用者に対して、一斉に緊急速報のメールが配信されました。今回は、気象庁からの強い揺れに関する「緊急地震速報」を配信。より多くの皆さんに情報を伝える手段として役立ちました。



◆ 4月14~20日までの大村市の震度別地震回数

震度1	震度2	震度3	震度4	合計
40	11	9	1	61

梅雨の季節が到来

風水害に備える



「想定外」に備える

毎年、日本各地で土砂災害や水害が発生し、全国各地で大きな被害をもたらしています。その様子が、テレビで放映され、そのすさまじさに言葉を失います。近年の集中豪雨や土砂災害、また、多発する大地震。考えてみると、どれも「想定外」の規模の災害に直面しているのです。

「想定外」の災害もよそ事ではありません。大村でも、過去には「想定外」の大水害や台風で、大きな被害を受けた経験があります。災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。不測の事態に立ち向かうためには、一人一人が防災の意識を高く持つことが重要です。そして、最悪を想定し、地域が一体となって備えることができれば、被害を最小限に食い止めることができます。

このまちで安心して暮らしていくためにも、災害に強い大村を目指しましょう。

防災行政無線

瞬時に警報をお知らせ

屋外スピーカーからは、気象警報、特別警報、土砂災害警戒情報が発令された際、チャイムと音声が発送されます。また、避難準備・勧告・指示の情報は、サイレンと音声で放送します。

→気象警報、特別警報、土砂災害警戒情報は、気象庁から屋外スピーカーを通じて瞬時に市民の皆さんにお伝えします。聴覚障害者には、文字表示付き防災ラジオで放送します。



ハザードマップ

もしものために確認を!

市では、河川の氾濫や土砂災害の恐れがある危険箇所や、避難所の情報を示した「ハザードマップ」を作成しています。避難行動などにこのマップを利用して、もしもの災害に備えましょう。

↓ハザードマップは、市役所や各出張所で配布するほか、市ホームページでも確認することができます。



防災情報メールマガジン

いざというときに役立つ!

気象情報や避難所の開設など、災害に関する情報をパソコンや携帯電話にメールでお知らせします。事前に登録して災害に備えましょう。登録は、下記のQRコードから。

→メールで防災情報を携帯電話にお届け。同じ内容は市ホームページにも掲載しています。



近くの避難所 知っていますか?

避難所を確認しよう
 災害の種類、規模に応じて開設する場所を決定しています。開設する際は、市ホームページ、メールマガジンなどでお知らせします。

1 三浦小学校	17 三城小学校	33 桜が原中学校
2 三浦住民センター	18 総合福祉センター	34 富の原小学校
3 浄土寺	19 武道館	35 竹松住民センター
4 鈴田住民センター	20 正法寺	36 竹松小学校
5 鈴田小学校	21 本経寺	37 郡コミセン
6 大村特別支援学校	22 東大村小学校	38 郡中学校
7 玖島中学校	23 西大村小学校	39 福重住民センター
8 大村高校	24 中央小学校	40 福重小学校
9 大村城南高校	25 西大村中学校	41 松原住民センター
10 大村小学校	26 中地区公民館	42 松原小学校
11 シーハットおおむら	27 大村工業高校	43 儀太夫記念館
12 旭が丘小学校	28 放虎原小学校	44 萱瀬小学校
13 大村中学校	29 西大村地区コミセン	45 萱瀬中学校
14 市民交流プラザ	30 池田湖畔会館	46 萱瀬住民センター
15 こどもセンター	31 池田公民館	47 黒木小学校
16 県農協大村中央	32 ろう学校	48 萱瀬ダム記念会館



大切な家族の命を守るためにも、家族で防災について話し合う機会を持ち、防災力を高めることが、家族の「安心」を生み出すのです。

例えば、避難ルートや避難時の集合場所を確認したり、非常持出品を確認するなど、日頃から備えておくことが大切です。

自然災害は、私たち人間の力では食い止めることはできませんが、被害は日頃の備えで減らすことができます。近くで力を合わせることでできるのは、「家族」。災害時には、家族全員が協力し合うことが求められます。

災害には家族で立ち向かおう



災害時は、隣近所の人たちと協力して被害にあった人たちを救助しなければなりません。そのため、町内会などで組織される「自主防災組織」の役割が大切になるのです。

昔からその地域に住んでいる人がよく知っています。地域の特性を把握したうえで、住民同士で災害に備えることが重要です。

住民同士が協力して自分たちの身を守る「共助」。地域を守る最も効果的な方法であり、防災の要です。住んでいる地域が昔どんな場所だったのか、どんな災害が起きていたのかなど、

自主防災組織を結成しよう